



令和6年度岡山市学生 イノベーションチャレンジ 活動報告会



ノートルダム清心女子大学
ツボジョーワールド探検隊

馬越 美佳

(日本語日本文学科3年)



TABLE OF CONTENTS

- 01** 活動の目的
- 02** 活動内容
 - (1) 冊子の執筆・編集
 - (2) お魚ちょ～さ隊
 - (3) 岡西公民館での企画
 - (4) 社会福祉協議会との協働
 - (5) 石井小学校訪問
- 03** 今回の活動を通して
- 04** 今後の展望
- 05** 最後に



1. 活動の目的

この活動は、岡山の文学と福祉を結びつけることを目的として行ったものです。

特に坪田譲治の児童文学が持つ

「子どもを思いやる心」と、岡山の福祉の歴史を
関連付けながら、多くの人にその魅力を伝えるこ
とを目指しました。

金色の実

～ 譲治と〈よりそう心〉～



文学創造都市
おかやま

ノートルダム清心女子大学文学部日本語日本文学科
「ツボショーワールド探検隊」による
坪田譲治紹介冊子

2. 活動内容

(1) 冊子の執筆・編集

- テーマ: 岡山の福祉と文学の関連性
- 内容:
 - 坪田譲治の生涯と作品
 - 岡山における福祉の歴史(石井十次など)
 - 坪田譲治と小川未明・宮沢賢治との関係性
- 編集の工夫:
 - 図・イラストを活用し、温かい雰囲気演出
 - キャラクターを用いた解説で、親しみやすい構成に

冊子の編集について

冊子は坪田譲治の紹介に留まらない

→坪田譲治と小川未明・宮沢賢治との関係性や、岡山で始まった孤児院や民生委員についても触れている。

→背景にイラストを載せる、図を用いるなどの工夫を行い見やすくキャラクターに語らせる内容についても、ページの内容の理解の助けとなり親しみが持てるように編集を行った。

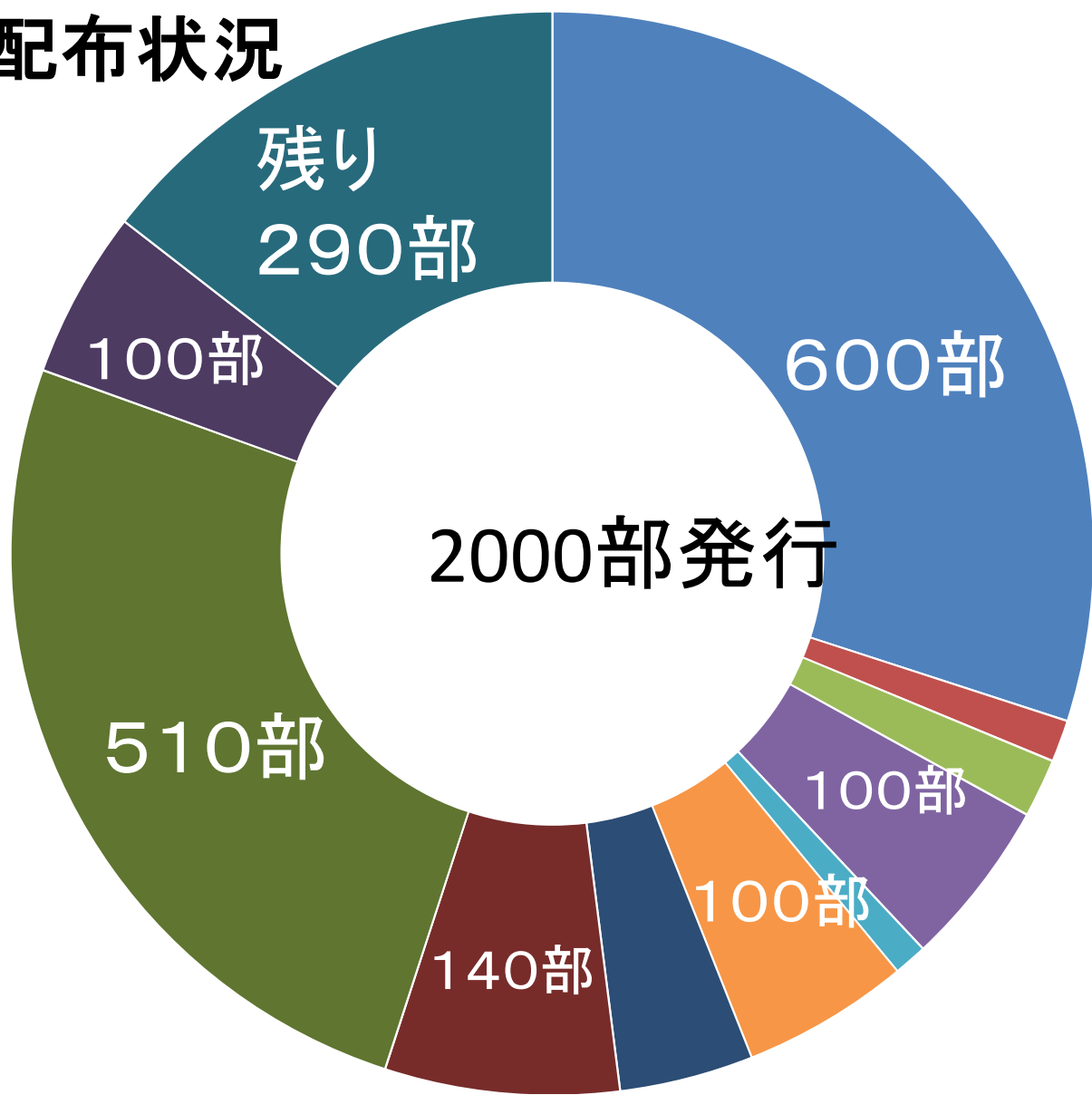
冊子の成果

Check



- 岡山県立図書館や各図書館に蔵書
- 石井小学校の全校生徒に配布
- 郷土資料企画コーナーで展示中

冊子配布状況



- 岡山市文化振興課
- 岡山市社会福祉協議会
- お魚ちょ〜さ隊
- 吉備路文学館
- 奉還町商店街
- 岡山県内外の図書館・資料館
- 岡山市立図書館10館・岡山県立図書館
- 岡西公民館行事
- 岡山市立石井小学校
- 岡山ユネスコ協会
- 残数



チャレンジした活動について

(2) お魚ちょ～さ隊



- 活動日: 10月12日(土)
- 内容: 坪田譲治が親しんだ能登川で、地域の方々と共に魚の調査を実施
- 目的:
 - 参加者と世代を超えた交流を図る
 - 自然との触れ合いを通して坪田譲治の作品世界を体感する

(3) 岡西公民館での企画



•活動日: 10月26日(土)

•内容:

- 坪田譲治のクイズイベント
- 心に響いた言葉を書き留めて持ち帰るワークショップ

•目的:

- 坪田譲治の作品をより深く記憶に残す
- 文学と福祉を結びつける意識を持つ



(4) 社会福祉協議会との協働



- 背景: 社会福祉協議会の取り組みの周知不足
- 取り組み:
 - 福祉の啓発活動として「元気の輪」の出店を企画
 - 障がいを持つ方々の手作りグッズやお菓子の販売
- 成果:
 - 参加者と出店者の交流が生まれ、売上にも貢献
 - 坪田譲治奨励の会からの高評価を得る

(5) 石井小学校訪問



- 活動日: 10月28日(月)
- 活動内容:
 - 坪田譲治の作品『桃の実』の全校放送朗読
 - 児童に「子どもを思う親の気持ち」を伝える
- 成果: 作製した冊子を全校生徒に配布

取り組みが 山陽新聞の 記事に

2024年8月25日

坪田譲治の魅力 分かち合う



紙芝居の練習をするツボジョーワールド探検隊のメンバー



山根知子教授

「お花びらの世界」や「風の中の子供」など、故郷の岡山を舞台に、近頃にも描かれた手書きの生きた子どもたちの物語を手がけた岡山出身の児童文学作家山根知子（1960～2024）。ノーベル文学賞を受賞した作家、山根知子（1960～2024）。ノーベル文学賞を受賞した作家、山根知子（1960～2024）。ノーベル文学賞を受賞した作家、山根知子（1960～2024）。

知を生かす
地域と大学

ノートルダム清心女子大「ツボジョーワールド探検隊」
岡西公民館

公民館がある石井中学校区には坪田先生が、地域の活動に力を入れている。岡山県立岡西公民館は2011年から、ツボジョーワールド探検隊と連携して、紙芝居の練習や、地域の活動に力を入れている。

岡西公民館・大武館長に聞く
岡山県立岡西公民館は2011年から、ツボジョーワールド探検隊と連携して、紙芝居の練習や、地域の活動に力を入れている。



学生たちとの連携について話す大武館長

学生が講座 住民楽しみに
坪田先生は、若い学生たちが、地域の活動に力を入れている。岡山県立岡西公民館は2011年から、ツボジョーワールド探検隊と連携して、紙芝居の練習や、地域の活動に力を入れている。



「お花びらの世界」に参加した学生たちは、かつて坪田が描いた熊倉川用水の風景を地域住民と共に撮った。2023年10月

自筆原稿、初版本… 資料そろえ研究支援

10年ほど展示スペースのある新コーナーを設け、山根知子先生の企画、監修で、坪田の命日（7月7日）を前に、毎時テーマを設けた展示企画を行っている。



坪田の関連資料を展示・保管する「坪田譲治コレクション」

取り組みが山陽新聞の記事に

坪田譲治の心テーマ 研究小冊子を刊行 清心女子大生グループ

岡山市出身の児童文学作家坪田譲治（1890～1982年）について学ぶノートルダム清心女子大（同市北区伊福町）の学生グループ「ツボジョーワールド探検隊」が、研究をまとめた小冊子「金色の実～譲治と〈よりそう心〉」を刊行した。

メンバーは日本語日本文学科の3、4年生7人。譲治の「よりそう心」をテーマに、家族や古里を愛し、子どもたちの豊かな成長を願って執

筆した作品世界を読み解いている。戦地の息子に思いをはせる父の心をつづった「桃の実」や、柿の木に登って父母の帰宅を待ちわびる子どもの姿



学生が研究をまとめた小冊子「金色の実」

がいじらしい「ケイちゃんとかきのたね」など、愛と思いやりに満ちた童話を解説。わが子を亡くした悲しみを物語に昇華させた小川未明、貧しい農民らに心を寄せた宮沢賢治ら作家たちとのきずなのほか、石井十次や山室軍平といった福祉に尽くした郷土の先人も紹介している。

3年馬越美佳さん(22)は「子どもを何より大事に思う譲治の心を多くの人に知ってほしい」と話す。

A5判、2000部作成。岡山市立の小中学校や県内の図書館に配布する。問い合わせは同大の山根知子教授(t-yamane@m.ndsu.ac.jp)。（則武由）

2024年11月12日

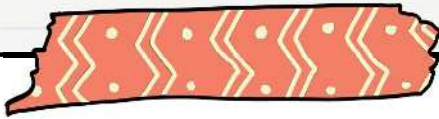
3.今回の活動を通して

- 文学と福祉をつなげる新たな視点を提供
- 坪田譲治の作品や岡山の福祉活動をより多くの人に伝えることができた
- 地域との連携を深め、今後の活動への手掛かりを得た

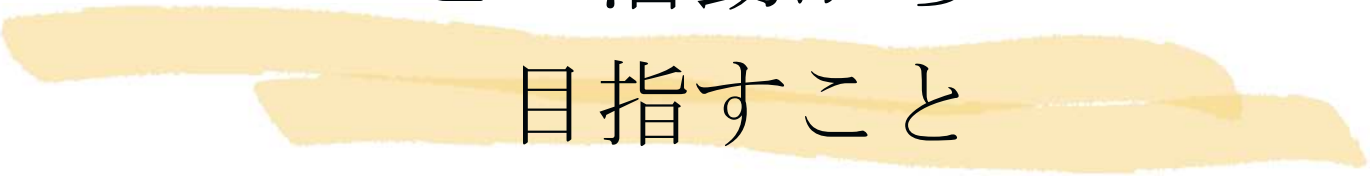
4.今後の展望

- 冊子の普及活動をさらに進める
- 「お魚ちょ～さ隊」の継続的な参加
- 公民館イベントの継続と新たな福祉との連携

5.最後に



この活動から 目指すこと



冊子を読んだ方・イベントに参加してくださった方々が、
坪田譲治の**子どもを思う気持ち**にあふれた作品に
触れ、また岡山の福祉と関連させることで、岡山が思いやり
あふれた街であることを知っていただき、
岡山がもっとあたたかい街になることを期待しています。





ご清聴
ありがとう
ございました